

## 編 集 後 記

Vol. 26, No. 3の「島根醫學」を会員諸先生にお届けする事は編集委員の一人として大変喜ばしい事  
であります。編集委員になる前には、正直言って島根醫學は拾い読みする程度であり、専門の学会雑誌  
数種類と以前から購読している臨床雑誌2種類を、それも関心のある部分だけを読むといった極めて不  
勉強な者でありました。今回編集後記を担当するに当ってご投稿戴いた先生方の原稿を読ませていただ  
いて、その御努力に改めて敬意を表する次第であります。

第74回生涯教育講座にご執筆戴いた坂野先生の「救急医療の枠組み」では、現実の救急医療体制と本  
来目指すべき体制との人的及び経済的なギャップを感じましたし、本間先生の「がんの分子標的療法薬  
の新たな展開」では、遺伝子治療の発展で従来ならば不治或は完治不能とされた疾患が治療可能になる  
希望を抱けるように思われました。両先生の御研究が今後更に発展し、結実して行くことをお祈り致し  
たいと思います。

一般投稿を戴いた先生方には、日常診療の中で遭遇された症例を元に種々の考察を加えて御発表戴い  
ておりますが、ご多忙な診療の中で注意深く症例を観察・検討しておられる事に敬意を表するものであ  
ります。これらの原稿をお読みになる会員の方々にも良い規範となるものと思われまます。なお、今回ご  
投稿戴きました高宮先生は、つい先日急逝されまして、今回の原稿が絶筆となりました。謹んで哀悼の  
意を表したいと思います。(老亥)

## 島根医学編集委員

野坂研介，西野泰生，武田博士，沖田瑛一，葛尾信弘，伊藤是衛，  
益田順一，信太秀夫，中井 勲，佐藤比登美，中川正久，小林祥泰

島 根 医 学

平成18年9月30日発行

発行者 島 根 県 医 師 会  
安来市安来町  
編 集 編集者 野 坂 研 介

発行所 松江市学園南2丁目3番11号  
有限会社 松 陽 印 刷 所